

総 説

- 1) 庄武孝義・峰澤満 (1989) サルの遺伝学実験法。黒田行昭編「動物遺伝学実験法」共立出版, 331-345.

論 文

- 1) Kawamoto, Y., Nozawa, K., Matsubayashi, K., & Gotoh, S. (1988) : A population genetic study of crab-eating macaques (*Macaca fascicularis*) on the island of Angaur, Palau, Micronesia. *Folia Primatologica*. 51 : 169-181.
- 2) 横浜道成・渡邊泰子・小林悦子・庄武孝義・野澤謙・茂木一重 (1989) 馬の transferrin 型および esterase 型の分類。日畜会報 60 : 115-120.
- 3) Hayashi, Y., Nishida, T., Shotake, T. & Kawamoto, Y. (1989) Multivariate craniometrics of Yak in Nepal. *Jpn. J. Vet. sci.* 51 : 1037-1039.
- 4) Nozawa, K. & Itoh, Y. (1989) Biochemical genetic differentiation among nine species of polistine wasps from Japan. *Insectes Sociaux*, Paris. 36 : 183-196.
- 5) Matsubayashi, K., Gotoh, S., Kawamoto, Y., Nozawa, K. & Suzuki, J. (1989) Biological characteristic of crab-eating monkeys on Angaur island. *Primate Res.* 5 : 46-57.
- 6) Nishida, T., Hayashi, Y., Kattel, B., Shotake, T., Kawamoto, Y., Adachi, A. & Maeda, Y. (1990) Morphological and ecological studies on the red jungle fowl in Nepal, the first and second investigations in 1986 and 1988. *Jpn. J. Zootech. Sci.* 61 : 79-88.

報告・その他

- 1) 野澤謙・庄武孝義・峰澤満・川本芳・早坂謙二・川本咲江・竹中修・松林清明 (1990) ニホンザルの遺伝子構成と集団構造。野澤謙編「霊長類の進化と人類の起源」平成元年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書。1-34.

学会報告

- 1) 川本芳・並河廣夫・足立明・庄武孝義・天野

卓・林良博・西田隆雄・H. B. Rajbhandary (1989) ネパール在来牛, 在来水牛にみられるミルクタンパクの電気泳動の変異。第82回日本畜産学会 北海道。

- 2) 庄武孝義 (1990) アフリカ在来牛の起源について。京大アフリカ地域研究センター 第6回シンポジウム。
- 3) 和田一雄・熊成培 (1989) チベットモンキーの雄間交渉の行動レパートリー。日本哺乳類学会1989年度大会。講演要旨: B22.
- 4) 熊成培・和田一雄 (1989) チベットモンキーのオスの交尾行動。日本哺乳類学会1989年度大会。講演要旨: B21.

生活史研究部門

杉山幸丸・森 明雄・山極寿一・広谷 彰¹⁾

研究概要

- 1) 西アフリカの熱帯多雨林および乾燥サバンナに生息する狭鼻猿の比較生態学
杉山幸丸・森 明雄・大沢秀行²⁾
三谷雅純³⁾・中川尚史³⁾・室山泰之⁴⁾
カメルーン国南部の熱帯多雨林(カンボ)と北部の乾燥地帯(カラマルエ)において、それぞれ同所的に生息する複数種の霊長類の採食行動、社会行動、性行動、個体群動態等について比較調査した。これらを合わせて、各種の行動様式と社会構造の環境への適応を比較考察している。またコンゴ国北東部において、植生環境と霊長類の種構成に関する広域調査を行った。

- 2) 西および中央アフリカに生息する大型類人猿の行動生態学

杉山幸丸・山極寿一・佐倉 統⁴⁾
伏見貴夫⁴⁾

ギニア国ボッソウに生息する野生チンパンジーの個体群を個体識別の下に長期追跡調査をしてきた。本年度は道具使用行動について実験的操作も含めた調査を行う一方、チンパンジー分布域全体に広がる文化圏形成の理論化、性周期の同調機構の理論化など、現地調査によって得た資料から一歩進んだ課題へと進んだ。

一方、ザイール国東部の熱帯性山地林や低地多

- 1) 非常勤講師
- 2) 社会研究部門
- 3) 学振特別研究員
- 4) 大学院生

雨林に同所的に生息するゴリラとチンパンジーの採食生態と行動特性、社会構造の異同が両種の共存にいかなる関連を持つかについて検討している。さらに両種の共存域の資料を非共存域における他の研究成果と比較することにより、類人猿と人類をつなぐプロト・ホミニドの分化過程についての考察も進めている。

3) ニホンザルの採食・繁殖生態と個体群動態の研究

杉山幸丸・森 明雄・大沢秀行²⁾

山極寿一・中川尚史³⁾・佐倉 統⁴⁾

アリスマ⁴⁾・芝原聡子⁵⁾

宮城県金華山島において個体の採食戦略を環境の食物供給状況との関連において追求し、大分県高崎山では社会的地位との関連において追求した。いずれも栄養分析によって摂取エネルギーと消費エネルギーのバランスにまで考察を進めた。一方、社会部門、生化学部門と共同で所内放飼集団において性行動と父性判定に基づく両性の繁殖戦略の探求を行った。また、これらの戦略と関連して順位、繁殖成功率、個体群動態の長期資料を高崎山および幸島において収集している。

屋久島ではヤクシマザルの環境条件や行動特性を他の地域に生息するホンダザルの自然群や餌付け群と比較し、本種の行動や社会に影響を与えている環境因子について検討している。

さらに、ニホンザル全体の生息数を推定し、その動態を明らかにする研究も進めつつある。

4) エチオピアに生息するヒヒ類の研究

森 明雄

マントヒヒとアヌビスヒヒの間にできる雑種ヒヒの行動の分析を目標として、ヒヒ類の調査を開始し、本年はこれまで調査の行われていなかった南部エチオピアで雑種ヒヒの分布を広域調査した。

5) カメルーン国カンボ動物保護区における異類の研究

森 明雄

カンボでは現地住民の生計活動の中で重要な役割を占める跳異類の調査を行ってきた。特に、獣道やそれを通して動物に対する現地住民の認知構造の分析を行っている。

6) 有蹄類の社会関係・社会構造の研究

広谷 彰

霊長類との比較のため、北部フィンランドで行ったトナカイの現地調査のまとめを行った。

論 文

- 1) Sugiyama, Y. (1988) : Grooming interactions among adult chimpanzees at Bossou, Guinea, with special reference to social structure. *International J. Primatol.*, 9(5) : 393-407.
- 2) Sugiyama, Y. (1989) : Population dynamics of chimpanzees at Bossou, Guinea. In : Heltne, P.G. & Marquardt, L.A. (eds.) *Understanding chimpanzees*, pp : 134-145. Harvard Univ. Press, Cambridge.
- 3) Hirotsu, A. (1989) : Social relationships of reindeer : *Rangifer tarandus* during rut : Implications for female choice. *Applied Animal Behaviour Science*, 24 : 183-202.
- 4) Mitani, M. (1989) : *Cercocebus torquatus* : Adaptive feeding and ranging behaviors related to seasonal fluctuations of food resources in the tropical rain forest of south-western Cameroon. *Primates*, 30 : 307-323.
- 5) 中川尚史 (1989) : 最適採食戦略の視点からみたニホンザルの採食行動。霊長類研究, 5 : 1-13.
- 6) Nakagawa, N. (1989) : Bioenergetics of Japanese Monkeys (*Macaca fuscata*) on Kinkazan Island during winter. *Primates*, 30 : 441-460.
- 7) Sakura, O. (1989) : Variability in Contact calls between troops of Japanese macaques : a possible case of neutral evolution of animal culture. *Animal Behaviour*, 38(5) : 900-902.

総 説

- 1) 杉山幸丸 (1989) : 実験用霊長類の危機。中央公論, 7月号 : 199-209.
- 2) 杉山幸丸 (1990) サルはなぜ群れるのか。202pp. 中央公論社, 東京.

研究報告・その他

- 1) 杉山幸丸 (1989) : 文化は人間独自のものか。サルはどこまで人間か (江原昭善編) : 287-301. 小学館, 東京.
- 2) 山極寿一 (1989) : 家族起源論へ向けて——ゴリラモデルの検証——。サルはどこまで人間か (江原昭善編) : 287-301. 小学館, 東京.
- 3) Yamagiwa, J., Maruhashi, T., Yumoto, T., Hamada, Y. & Mwanza, N. (1989) : Distribution and present status of primates in the Kivu district, Zaire. Grant-in-Aid for Overseas Scientific Research Report "Interspecies Relationships of Primates in the Tropical and Montane Forests", 1 : 11-21.
- 4) Yamagiwa, J., Maruhashi, T., Yumoto, T., & Mwanza, N. (1989) : A preliminary survey on sympatric populations of *Gorilla g. graneri* and *Pan t. schweinfurthii* in eastern Zaire. Grant-in-Aid for Overseas Scientific Research Report "Interspecies Relationships of Primates in the Tropical and Montane Forests". 1 : 23-40.
- 5) Mwanza, N. & Yamagiwa, J. (1989) : A note on the distribution of primates between Zaire-Lualaba river and the African Rift Valley. Grant-in-Aid for Overseas Scientific Research Report "Interspecies Relationships of Primates in the Tropical and Montane Forests", 1 : 5-10.
- 6) Yumoto, T., Maruhashi, T., Yamagiwa J., & Mwanza, N. (1989) : Feeding habit of primates in the tropical forests of eastern Zaire. Grant-in-Aid for Overseas scientific Research Report "Interspecies Relationships of Primates in the Tropical and Montane Forests", 1 : 41-51.
- 7) Maruhashi, T., Yumoto, T., Yamagiwa, J., & Mwanza, N. (1989) : Some observations on the primates in a montane forest at the Kahuji-Biega National Park, Zaire. Grant-in-Aid for Overseas Scientific Research Report "Interspecies Relationships of Primates in the Tropical and Montane Forests", 1 : 53-56.
- 8) Mwanza, N., Yamagiwa, J., Maruhashi, T., Hanada, Y. & Yumoto, T. (1989) : Conservation of primates in the Kivu district, Zaire. Grant-in-Aid for Overseas Scientific Research Report "Interspecies Relationships of Primates in the Tropical and Montane Forests", 1 : 113-117.
- 9) 山極寿一 (1989) : アフリカ大型類人猿の種分化. 財団法人日本モンキーセンター年報, 1989 : 73-76.

学会発表

- 1) 杉山幸丸, 松沢哲郎, 佐倉統 (1989) : ボッソウのチンパンジーの昆虫食と道具使用. 第5回日本霊長類学会大会. 霊長類研究, 5(2) : 161.
- 2) 広谷彰 (1989) トナカイの繁殖システム : 個体群間の比較. 第36回日本生態学会大会, 講演要旨 : 263.
- 3) 三谷雅純 (1989) : コンゴ国サンガ州に生息する霊長類の現状. 第5回日本霊長類学会大会. 霊長類研究, 5(2) : 163.
- 4) 三谷雅純 (1989) : カメルーン国南部森林地帯に生息する霊長類の現状と保護策の展望. 第26回日本アフリカ学会大会
- 5) 佐倉統 (1989) : チンパンジーの様々な集団. 第36回日本生態学会大会. 講演要旨 :
- 6) 佐倉統 (1989) : 「群れ」という概念は必要か? 第5回日本霊長類学会大会. 霊長類研究, 5(2) : 165.
- 7) 佐倉統 (1989) : 社会生物学と人類進化. 第43回日本人類学会日本民族学会連合大会. 講演要旨 : 88.
- 8) 芝原聡子・井上美穂・竹中晃子・竹中修・杉山幸丸・Soumah, A. G.・野崎真澄・佐倉統・大沢秀行 (1989) : ニホンザル配偶行動のクラス間差異. 第5回日本霊長類学会大会. 霊長類研究, 5(2) : 165.
- 9) 芝原聡子・井上美穂・竹中晃子・竹中修・杉山幸丸・野崎真澄・佐倉統・Soumah, A. G.・大沢秀行 (1989) : ニホンザルの配偶の配偶行動のクラス間差異. 第8回日本動物行動学会大会. 講演要旨 : 18.